Ⅰ. 事業の概要

2021 年度は 2020 年度に引き続き、新型コロナウィルスの感染拡大が、社会に大きな影響を与えました。しかし、国内におけるワクチン接種の進展や、社会情勢が少しずつ with コロナの方向へシフトする中、豊田理化学研究所でも、オンライン形式を併用しつつ、徐々に対面での活動を再開し始めました。

「研究事業」では、新規にフェロー2 名を採用しました。フェロー研究報告会は、少人数の現地聴講とオンライン配信を組み合わせたハイブリッド方式で、2 回（10 月、2 月）開催しました。2020 年度休止していた豊田理研懇話会も、2021 年度下期より、ハイブリッド方式で再開することができました（11 月、1 月、3 月）。一方、2021 年度計画していた豊田理研ワークショップは、再度 2022 年度に延期になりました。

「助成事業」では、豊田理研スカラー36 件を採択しました。若手研究者の交流の場として開催している異分野若手交流会は、2020 年度に引き続いてオンラインでの実施となりました（8 月）。また、2020 年実施の交流会を契機に募集、採択したスカラー共同研究を 3 件実施しました。一方、特定課題研究は、継続の 1 件は実施しましたが、集会での研究会や情報交換会が難しい中、趣旨に合致した活動が困難である事などから、2021 年度の募集は休止しました。海外大学院進学支援制度では、2020 年度より英国オックスフォード大学の大学院博士課程に留学している 2 名の学生に支援を行っていますが、2021 年度は新たに 2022 年度留学予定の 1 名の採択が決定しました。

運営面では、2021 年度は理事改選期のため、理事会運営体制の見直しを行いました。理事数を従来の 16 名から 9 名にする共に、新規に大学の若手教授や女性研究者など、多様な方々に就任頂きました。豊田理研の重要課題等を審議し、理事会に提案する企画・運営委員会の委員も、理事に加えて評議員にも参画頂き、多様なメンバーで議論を進める体制としました。この企画・運営委員会を中心に研究事業、助成事業の見直しを検討し、今後は大型の助成制度により、若手研究者支援を主体としていくことで、2022 年 3 月理事会において決議されました。2022 年度より順次実施して行く予定です。

財政面では、新型コロナウィルスや半導体不足の影響があったものの、トヨタグループ各社の堅調な業績のもと、2021 年度の豊田理研の経常収益は過去最高になりました。この収益の中から通常の事業支出に加え、将来の建物大規模修繕に備えた資産取得資金の積立てを行いました。また、今後数年を掛けて徐々に拡大する計画の大型助成制度に備え、新たに助成事業積立基金を設け、公益目的保有財産として海外金融資産を取得しました。

以下、各事業および 2021 年度に企画・推進した取り組みについて説明します。

1. 研究事業

1-1　フェロー事業

(1) フェローと研究テーマ

2021 年度は新規にフェロー2 名を採用し、フェロー9 名、客員フェロー3 名の計 12 名で研究活動を実施しました。表 1、表 2 に各フェローの研究テーマを示します。
研究内容および成果の詳細は、豊田理研ホームページで公開の「豊田研究報告 No.75」に記載の通りです。

表 1. フェローと研究テーマ

在籍	氏　名	研究テーマ
4年目	齋藤 弥八（名古屋大学 名誉教授）	ナノカーボンの特異な電界放出像の解明と電界放出に伴う新物質の合成
	松本 吉泰（京都大学 名誉教授）	単一粒子分光による光触媒反応機構の解明
3年目	今田 正俊（東京大学 名誉教授）	強相関電子系の新原理、新機能の理論的追究
	大門　寛 （奈良先端科学技術大学院大学 名誉教授）	原子分解能ホログラフィー顕微鏡 Compact DELMA の開発とその応用
	西川 惠子（千葉大学 名誉教授）	複雑凝集系の静的・動的ゆらぎの研究とゆらぎから生じる機能の解明
2年目	伊藤 敏幸（鳥取大学 名誉教授）	イオン液体機能材料の創成
	松下 裕秀（名古屋大学 名誉教授）	ブロック共重合体新分子設計によるメソスケールアルキメデスタイリングの踏破
新任	大谷 博司（東北大学 名誉教授）	第一原理計算に基づく理論状態図の構築と準安定物質創成に関する研究
	田中 秀樹（岡山大学 名誉教授）	柔軟な水素結合による水と氷の多様性の発現機構

表 2. 客員フェローと研究テーマ

在籍	氏名	研究テーマ
3年目	喜多村 舜（北海道大学 名誉教授）	顕微レーザー光化学の研究展開
	菅原 洋子（北里大学 名誉教授）	μSR の生命機能解析への展開
2年目	尾崎 幸洋（関西学院大学 名誉教授）	凝集体の遠紫外分光法の基礎と応用

2021 年度は客員フェロー採用なし

(2) 科研費

フェローは、表 3 に示す通り、研究にあたり日本学術振興機構の科学研究費助成事業（科研費）の助成または補助を受けております。

表 3. 2021 年度に助成・補助を受けた科学研究助成事業

研究種目	研究代表者	研究課題
基盤研究B	松本　吉康	光誘起電位のオペランドマッピングによる光熱触媒反応の解明
基盤研究B	西川　惠子	相移転時の動的ゆらぎの観察と機構の解明
基盤研究C	伊藤　俊幸	イオン液体の調湿機構解明による省エネ・イオン液体調湿空調機の開発
基盤研究C	松下　裕秀	4成分5元ブロック共重合体による新規タイリング構造の構築
基盤研究B	大谷　博司	熱力学的準安定性の制御による新物質合成に関する研究

科研費の助成、補助を受けるにあたっては、研究不正を防止する体制を整備し、フェローをはじめとする職員に対する啓発、教育を行い、不正防止に努めています。
2021 年度に行った研究不正防止研修会を表 4 に示します。

表 4. 研究不正防止に関する研修会・説明会

実施日時	名称等	内容
2021 年 7 月 20 日（火）	研究不正防止講演会 /科学研究費助成事業　公募説明会 場所：井口洋夫記念ホール 説明者：フェロー　西川　惠子、 事務局　浜辺　宏子 参加者：研究者　9 名、事務局員　11 名	1. 研究不正防止に向けた研究倫理教育の普及・定着に向けた取り組みの説明・議論 (1) 日本学術振興会での事例説明 (2) 改正ガイドラインの説明 (3) 文科省HPにおける不正事例 2. 令和 4 年度の公募の説明

(3) フェロー研究報告会

フェローの研究成果を発表、議論するフェロー研究報告会を2回実施しました。表5に各報告会の発表テーマ、発表者等の詳細を示します。

いずれも井口ホールでの少人数の現地聴講にオンライン配信を組み合わせたハイブリッド方式で行いました。

表 5. フェロー研究報告会

第 30 回フェロー研究報告会			
日　時	2021 年 10 月 21 日（木）	形　式	豊田理化学研究所井口ホールで講演、オンライン配信
聴講者	123 名		

発表テーマ（発表者）：

① 4 成分ブロック共重合体が織る複合的周期・準周期構造　（松下裕秀フェロー）
② 結晶格子点上の自由回転子―回折強度の定式化―　（西川惠子フェロー）
③ 分子性結晶における量子もつれ・量子スピン液体　（今田正俊フェロー）
④ 液式空調機用吸湿剤となるジカチオン性第4級アンモニウム塩イオン液体の開発　（伊藤敏幸フェロー）
⑤ CoDELMA によるナノ分析用高分解能原子ホログラフィー顕微鏡の開発　（大門　寛 フェロー）

第 31 回フェロー研究報告会			
日　時	2022 年 2 月 17 日（木）	場　所	豊田理化学研究所井口ホールで講演、オンライン配信
聴講者	100 名		

発表テーマ（発表者）：

① μSR による蛋白質構成要素のプロトンダイナミクス解析　－生命機能解析へ向けて　（菅原洋子 客員フェロー）
② 顕微レーザー光化学の研究展開　（喜多村 昇 客員フェロー）
③ バナジン酸ビスマスにおける光電気化学的水の酸化反応機構　（松本吉泰 フェロー）
④ 電界放出を利用したグラフェンエッジの観察および投射低速電子顕微鏡の試作　（齋藤弥八 フェロー）

(4) 豊田理研ワークショップ

豊田理研が主催するワークショップは、フェローが中心となって、国内外の著名な研究者を招聘し、特定の研究分野に関して集中的に議論する場を提供することで、各研究分野の進展に寄与しようとするものです。

2021 年度は、2020 年度に計画していた 1 件を予定していましたが、新型コロナウィルス感染拡大の影響を受け、2022 年度に再延期としました。

1-2 学術談話会

(1) 豊田理研懇話会

「最先端で活躍している著名な先生をお招きして、難しいことを、易しく」話していただくセミナー「豊田理研懇話会」を、フェロー研究活動活性化の一環として開催しております。新型コロナウィルス感染拡大の影響を受け、2020年度は休止していましたが、2021年度下期より井口ホールでの少人数の現地聴講にオンライン配信を組み合わせたハイブリッド方式で再開しました。豊田理研関係者のみならず、近隣の大学、研究機関の方々にもご参加いただいて、活発な討議が行われています。2021年度は 3回開催し、2012年度に開始以来、通算の開催回数は27回となりました。セミナー題目、講演者の一覧を表6に示します。

表 6.　2021 年度 豊田理研懇話会のテーマ

回	年月日	講演者	セミナー題目
1	2021 年 11 月 2 日	大阪大学　教授 仲野　徹　氏	エピジェネティクスってなに？ ーゲノムに上書きされている情報ー 聴講者:184 名
2	2022 年 1 月 18 日	東京大学　卓越教授 分子科学研究所　卓越教授 藤田　誠　氏	結晶スポンジ法:原理の創出から社会実装まで 聴講者:204 名
3	2022 年 3 月 22 日	東京大学 先端科学技術研究センター 所長・教授 神崎亮平　氏	昆虫から学ぶ生物知能 ―昆虫のセンサと脳システムを規範とした 匂い源探索ロボット―　聴講者:230 名

(2) 物性談話会

名古屋大学と共催で、東海地方の物性物理学研究者の啓発を図る場として活動しています。2021年度はオンライン形式で表7に示す7回の談話会を開催しました。1963年に発足以来、通算の開催回数は421回となりました。

表 7.　2021 年度 物性談話会の活動

回	年月日	講演者	講演題目
1	2021 年 6 月 10 日(木)	東京理科大学 准教授　秋元琢磨　氏	拡散係数の揺らぎがもたらす異常拡散と その起源 聴講:60 名
2	2021 年 7 月 2 日(金)	東京大学物性研究所 教授　岡　隆史　氏	非平衡量子物理における様々な幾何学効果 聴講:41名
3	2021 年 7 月 19 日(月)	山形大学(前学長) 名誉教授　小山清人　氏	高分子溶融体の伸長粘度と長時間緩和 聴講:221 名
4	2021 年 9 月 14 日(火)	東京大学 知の物理学研究センター長 教授　上田正仁　氏	物理学とAIの融合-「知の物理学」が目指す ところ 聴講:79名

5	2021 年 10 月 26 日（火）	京都大学化学研究所 教授　金光義彦　氏	光物質科学の新展開 -新しい半導体ハライドペロブスカイトの不思議な特性- 聴講：35 名
6	2021 年 10 月 28 日（木）	東京大学 准教授　森本高裕　氏	幾何学位相に駆動された非線形応答現象 聴講：35 名
7	2021 年 12 月 9 日（木）	量子科学技術研究開発機構 高圧・応力科学研究 G G リーダー　齋藤寛之　氏	高圧法による新規金属水素化物の探索研究 聴講：27名

（3）　分子科学フォーラム

分子科学の発展を希求する幅広い研究者に討論の場を提供する事を目的に、分子科学研究所と共催で開催しており、一般市民にも公開しています。2021年度は、表8に示す4回のフォーラムをオンライン形式で開催しました。1996年に発足以来、通算開催回数は131回となりました。

表 8.　2021 年度 分子科学フォーラムの活動

回	実施年月	講演者	講演テーマ
1	2021 年 6 月 11 日（金）	北海道大学 教授　渡部直樹　氏	宇宙における分子の進化と氷微粒子の役割
2	2021 年 10 月 23 日（土）	分子科学研究所 助教　大東琢治　氏	宇宙の中のミクロ、ミクロの中の宇宙 －はやぶさ２帰還試料のナノ有機物分析－
3	2021 年 12 月 3 日（金）	大阪大学 栄誉教授　正岡重行　氏	人工光合成への挑戦 －空気や水から価値ある分子を－
4	2022 年 1 月 28 日（金）	日立製作所 フェロー　矢野和男　氏	ウエルビーイング経営の本質 -データが明かす新たな人・組織・社会と幸せ-

2. 助成事業

2-1　豊田理研スカラー

豊田理研スカラーは博士の学位を有し、所属大学の推薦を受けた優秀な若手教員の中から、研究課題が当所の設立趣旨、目指す方向と合致する方を選定し、研究費用の一部を助成する制度です。

(1) 2021 年度の採択状況

2021 年度は、表 9 に記載の 36 名の研究者に対し、規定の研究助成金を支給し、研究推進を支援するとともに、助成金贈呈書を授与しました。研究は年初に策定した研究計画にそって実施されました。研究内容および成果は、豊田理研ホームページで公開の「豊田研究報告 No.75」に記載の通りです。2011 年度の制度発足以来、採択者合計は 312 名になりました。

表 9.　2021 年度豊田理研スカラーの所属と研究テーマ

No	大学名		氏名	職位	研究テーマ
1	北海道	工学	鍜治怜奈	助教	スピン揺らぎによる 3 次元スピン情報イメージング分光法の開発
2			ﾛｾﾞﾛ ﾅﾊﾞﾛ ﾅﾀﾘｰｶﾛﾘｰﾅ	助教	ハロゲン化物イオン含有層状複水酸化物のアニオン電池用新規電極材料への応用
3			張　麗華	助教	水中ラジカル反応を利用する光機能性金属ナノ酸化物作製手法の開発
4		理学	柳澤達也	准教授	精密超音波測定法による多チャンネル近藤効果の実証
5			吉田紘行	准教授	マグノンダイオード材料の開発
6	東北	理学	脇坂聖憲	助教	クエン酸鉄多核錯体を前駆体とする炭化鉄クラスター合成法の開発
7			河底秀幸	助教	3d-eg 軌道に 1 つの電子を有する層状ニッケル酸化物における超伝導物質探索
8	東京	工学	齋藤雄太朗	助教	多価不飽和脂肪酸代謝物の自在合成法の開発と応用
9			佐藤正寛	助教	マテリアルズインフォマティクスによるポリマー電気物性予測
10	東京工業		鷹谷　絢	准教授	Ambiphilic パイ共役系化合物の迅速合成法の開発と機能開拓
11			佐藤浩平	助教	生体ナノ空間を活用した高分子精密合成法の開拓
12			気谷　卓	助教	金属絶縁体転移を利用した熱スイッチング材料の創出

13	静岡	工学	青山真大	助教	インバーター体型フレキシブル誘導加熱システムの創成
14	豊橋技術科学		広瀬　侑	助教	次世代シークエンサーを用いた船底塗料の防汚性評価法の確立
15	名古屋	工学	川口由紀	教授	冷却原子気体における連結ジョセフソン振動子の同期現象
16			前田英次郎	准教授	強くしなやかな人工腱をつくる-コラーゲンとエラスチンの機能的複合化技術創成
17			福井識人	助教	狭バンドギャップと安定性を兼ね備えた芳香族炭化水素の創出
18		理学	村井征史	准教授	金属元素を含まない機能性近赤外発光素子の開発
19			鄭　知恩	助教	単核モリブデン光触媒を用いた二酸化炭素の選択的光還元反応の開発と機構解明
20	豊田工業		ジャン　ユウェイ	助教	エネルギーハーベスティング向けの０V オン電圧を有する高効率ｐ型GaNゲートAlGaN/GaN整流用ダイオード
21	岐阜		植村一広	准教授	ポリオキソメタレートを基盤とした新しい分子性導体の開発
22			路(ろ)姍(さん)	助教	強化学習を利用して大規模マシンタイプ通信におけるマルチユーザー検出に関する研究
23	京都	工学	上野遼平	特定研究員	上皮細胞の立体構造崩壊に基づいた高速細胞毒性検出システムの開発
24			田嶌俊之	特定研究員	イオン注入時の温度変化による量子通信光波長帯固体欠陥中心作製と発光特性評価
25			高津　浩	講師	応力で開拓する新規強磁性ユウロピウム化合物とその巨大磁気異方性の解明
26		理学	中曽根祐介	助教	光で制御する液－液相分離と生命機能
27	大阪	基礎工学	横山知大	助教	形状制御された強磁性体における電磁場と素励起のデザイン
28			五月女 光	助教	ハイパースペクトルイメージングによる光メカニカル機能材料の不均一反応速度論の解明
29		工学	平野康次	准教授	求電子的アミノ化を鍵とする非天然型α-アミノ酸の立体網羅的不斉合成
30			馬越貴之	助教	光異性化材料のナノ光反応法の創出と光駆動トランジスタへの展開

31	大阪	理学	稲木美紀子	助教	アクチンのキラルな動態による細胞キラリティ形成機構の解明
32			谷　洋介	助教	分子の配座ダイナミクスを基盤とする純有機液体りん光材料の開発
33	九州	工学	大野真之	助教	ハロゲン系元素を骨格に持つナトリウムイオン伝導固体電解質の探索
34			板垣奈穂	教授	新規 II-III-V-VI 族化合物半導体による長寿命なブライト励起子の創製
35		理学	高橋達郎	教授	正確な相同性依存的修復の試験管内再構成による理解
36			佐々木江理子	准教授	個体間のエピジェネティクス修飾変異を決定する遺伝的基盤の探索と予測

(2) 豊田理研異分野若手交流会

若手研究者の育成や連携の促進を狙いとして、「豊田理研スカラー」「特定課題研究代表者」を対象に、2016年度から「異分野若手交流会」を開催しています。例年は1泊2日の合宿形式で実施していましたが、2020年度に引き続き2021年度も新型コロナ感染拡大の影響で、2日間のオンライン開催としました。

さまざまな分野の研究者が集合し、異分野間の情報交換やネットワーク作りを支援し、新たな研究テーマ創出の機会を提供しました。今年度も、当年度採択のスカラー、特定課題研究代表者に加え、前年度スカラー採択者にも参加頂き、年度を跨いだスカラー間の交流も図っています。表10に概要を示します。

表 10.　第 6 回　豊田理研異分野若手交流会概要

日　時	2021 年 8 月 6 日(金)～7 日(土)
参加者	2021 年度豊田理研スカラー(36)、2020 年度豊田理研スカラー(9)、 2021 年度特定課題研究代表者(1)、 常勤フェロー、企画・運営理事、審査委員(18)　　合計 64 名
内　容	＜ 1 日目＞ 1. 全体会議 (1)開会式, 所長講演 (2)研究紹介　動画配信 （予め提出された約4分／テーマのビデオを編集, 連続で配信） 2. 個別質疑（スケジュールに合わせて説明者がZoom会議を開設） 質問者は関心あるテーマの会議室に入室し討議 ＜2日目＞ 1. 個別質疑(続き) 2. フェロー特別講演　松本吉泰フェロー 3. 閉会式 (1)スカラー共同研究の案内 (2)総括

(3) 豊田理研スカラー共同研究

この制度は「豊田理研異分野若手交流会」の場で、スカラー間で新たに生まれた「共同研究」に対して助成を行うもので、2016年度から始まりました。例年、8月頃行われる交流会参加者からテーマ提案があり、審査委員会での審査を経て、その年度の下期に「豊田理研スカラー共同研究(Phase 1)」として共同研究の立ち上げを支援しています。その結果を受け、期間を延長することで更に大きな進展が期待できる共同研究テーマに対して再度審査を行い、承認されると「Phase 2」に移行し、1年間の追加助成を行っています。表11に2021年度実施の「Phase 1」の所属と研究テーマを示します。

表 11.　2021 年度　豊田理研スカラー共同研究（Phase 1）

No	共同研究テーマ名	所属・氏名
1	細胞内環境における液―液相分離の生物物理学的原理と生理的機能の統合的理解	九州大学　教授　高橋達郎
		京都大学　助教　中曽根祐介
2	人工合成ダイヤモンドの極低温・強磁場下における弾性特性	北海道大学　准教授　柳澤達也
		京都大学　特定研究員　田嶌俊之
3	金属錯体を基盤とした一次元状物質の電気物性の実測および予測	岐阜大学　准教授　植村一広
		東京大学　講師　佐藤正寛

一方「Phase 2」に関しては、2020年度の交流会開催が12月になり、年度内に共同研究の立ち上げを行う時間的余裕が無くなってしまいました。そこで2021年度は、採択されたテーマ（3件）は2021年4月から1年6カ月の期間、「Phase 2」として助成を実施しています。

表 12.　2021 年度　豊田理研スカラー共同研究（Phase 2）

No	共同研究テーマ名	所属・氏名
1	脂肪族ポリエステルの実践的合成を目指した高活性固定化触媒の開発	豊橋技術科学大学　准教授　原口直樹
		北海道大学　助教　磯野拓也
2	スポンジモノリス充填デバイスによる細胞の機械的強度に基づいた細胞分離分析法の開発	九州大学　教授　加地範匡
		京都大学　准教授　久保拓也
3	精密分子合成を基盤とする革新的多孔質有機結晶の創製と機能評価	九州大学　准教授　小野利和
		北海道大学　助教　石垣侑祐
		北海道大学　助教　百合野大雅
		東北大学　助教　井口弘章

2-2　特定課題研究

特定課題研究は、中長期的な視点から見て重要と思われる萌芽的な研究課題に取り組んでいる研究チームを激励し、その研究の進展を図り、新しい研究領域を開拓するための費用の一部を援助する制度です。2021 年度は表 13 に示すように、1 件の継続テーマを実施しました。

各研究代表者が中心となり、コアメンバーに関係者を加えた研究会がコロナ禍の中、オンラインで開催され、新研究領域構築に向けた議論が深められました。研究内容および成果は、「豊田研究報告 No.75」に記載の通りです。

表 13.　2021 年度　特定課題研究テーマ

No.	分類	研究代表者	コアメンバー	研究テーマ
1	継続	日本大学　准教授 井口史匡	6 名	全固体エネルギー変換デバイスにおける力学的作用

2-3　海外大学院進学支援制度

科学技術の分野で、海外の大学院で博士号（Ph.D.）取得を目指す日本国籍の学生に対して、その留学を支援することにより、国際的に活躍できる人材の育成を図ることを目的に、2019年度に開始しました。

2021年度は、国際科学オリンピック出場者から、国際科学オリンピック代表選抜大会出場経験者へ応募枠を拡げ1名が海外大学院進学コースに採択されました。

2020年10月から留学した2名もイギリスオックスフォード大学大学院の博士課程に在籍し、コロナ禍の中ですが、元気に研究活動を行っています。

表 14.　海外大学院進学支援制度の概要

	海外大学院進学コース	海外大学院進学準備コース
応募資格	国際科学オリンピック代表選抜大会出場経験者	
募集対象	2022 年海外大学院入学に向け、2021 年度内に海外大学院受験を予定している者	2023 年以降の海外大学院入学を目的に、先行的に準備、調査等を行う者
支援内容	・支援決定後： 進学先決定のための現地調査費用 エッセイ作成指導費用等を助成 ・大学院合格後： 授業料、渡航費、渡航準備金、奨学金等の支援を実施 （原則 1 人 800 万円/年以内）	・支援決定後： 短期留学、語学学校費用等の支援を実施 （原則 1 人 100 万円以内）
支援期間	入学後最長 2 年	海外大学院受験までの期間 但し短期留学は 1 回、語学学校は最長 1 年

表 15.　海外大学院進学支援制度　2021 年採択者

氏名	山田啓介
採択年	2021 年
コース	海外大学院進学コース
応募時所属	早稲田大学先進理工学部　電気・情報生命工学科
留学先	University of Pennsylvania，Bioengineering
留学開始	2022 年 10 月
国際科学 オリンピック実績	日本生物学オリンピック2013　金賞、他

3. 広報活動

3-1 豊田研究報告

研究者の研究業績の公開と蓄積のため、「豊田研究報告」を年 1 回刊行しています。2021 年度は、第 74 号を発行しました。研究論文、報告はフェロー11 件、元フェローによる特別寄稿 2 件、豊田理研スカラー30 件、スカラー共同研究 4 件、特定課題研究 3 件で合計 50 件となりました。また、豊田理研の 1 年の活動内容を要約した「2020 年度豊田理化学研究所の活動」を掲載しました。交換雑誌として広く大学、図書館等へ配付しました。

3-2 ホームページ

財団概要、事業紹介、豊田理研フェローの研究内容や成果を掲載したフェロー紹介等をはじめ、公募や講演会のお知らせ等、研究所の活動をタイムリーに発信しています。

Ⅱ. 処務の概要

1. 役員に関する事項

（1）　理事改選

2021 年 6 月 16 日付けで、理事 10 名が退任し、新たに 3 名の理事が就任しました。

退任理事：石田清仁、石橋善弘、井上博允、鵜飼裕之、川合眞紀、北川禎三、立花貞司、張紀久夫、中村新男、斎藤卓

新任理事：上杉志成、唯美津木、長谷川眞理子

2022 年 3 月 31 日現在の役員は、別表 1.「役員・評議員名簿」を参照。

2. 職員に関する事項

2022 年 3 月 31 日現在の職員は、別表 2.「研究職員名簿」、および別表 3.「事務職員名簿」を参照。

3. 役員会に関する事項

表 15 に示すように、2021 年度は、通常理事会 2 回、臨時理事会 4 回、および定時評議員会 1 回、臨時評議員会 2 回を開催いたしました。

表 15　理事会、評議員会の開催状況

役員会	開催年月日	議案	結果
第 40 回 通常理事会	2021 年 5 月 31 日（月）	1）2020 年度　事業報告書承認の件	承認
		2）2020 年度　決算報告書承認の件	承認
		3）定款変更の件（理事の定数変更）	承認
		4）理事候補者名簿の件	承認
		5）役員等報酬規程改定の件	承認
		6）第 22 回評議員会（書面審議）開催の件	可決
第 22 回 定時評議員会 （書面審議）	2021 年 6 月 16 日（水）	1）2020 年度　事業報告書の件	可決
		2）2020 年度　決算報告書の件	可決
		3）定款変更の件（理事の定数変更）	可決
		4）理事選任の件	可決
		5）役員等報酬規程改定の件	可決
第 41 回 臨時理事会 （書面審議）	2021 年 6 月 25 日（金）	1）代表理事（理事長、所長）、業務執行理事（常務理事）選定の件	可決
		2）代表理事（所長）、業務執行理事（常務理事）の報酬額について	可決

第 42 回 臨時理事会	2021 年 7 月 22 日（木）	1）企画・運営委員会規程改定の件 2）企画・運営委員会委員選任の件 3）役員等報酬規程改定の件 4）第 23 回評議員会（書面審議）開催の件	可決 可決 承認 可決
第 23 回 臨時評議員会 （書面審議）	2021 年 7 月 30 日（金）	1）役員等報酬規程改定の件	可決
第 43 回 臨時理事会	2021 年 10 月 11 日（月）	1）2022 年度 豊田理研フェロー候補者の件 2）2022 年度 海外大学院進学候補者の件 3）特定課題研究 募集休止の件 4）豊田理研フェロー 募集休止の件	可決 可決 可決 可決
第 44 回 臨時理事会 （書面審議）	2022 年 2 月 18 日（金）	1）第 24 回評議員会招集の件	可決
第 45 回 通常理事会	2022 年 3 月 9 日（水）	1）フェロー制度改革 2）スカラー、スカラー共同研究改革 3）フェロー選考委員会運営規程改定 4）審査委員会運営規程改定 5）特定費用準備資金一部取り崩し 6）助成事業積立基金規程制定 7）海外金融資産取得 8）2022 年度 事業計画書 9）2022 年度 収支予算書 10）事務局長選任	可決 可決 可決 可決 承認 可決 可決 可決 可決 可決
第 24 回 臨時評議員会	2022 年 3 月 9 日（水）	1）特定費用準備資金一部取り崩し	可決

4. 許可・認可・証明等に関する事項

該当事項無し

5.　契約に関する事項

(1) 技術協力契約　株式会社豊田中央研究所（2021 年 4 月 1 日）
(2) 監査契約　後藤公認会計士事務所（2021 年 4 月 1 日）
(3) 出向社員の取扱に関する協定書　株式会社豊田中央研究所（2021 年 10 月 1 日）
(4) 業務災害補償保険契約（2021 年 6 月 1 日）
(5) 賠償責任保険契約（研究棟、井口記念ホール）三井住友海上火災保険株式会社（2022 年 2 月 28 日）
(6) 業務委託契約　株式会社トヨタアカウンティングサービス（2021 年 4 月 1 日）
(7) 警備業務請負契約　株式会社トヨタエンタプライズ（2021 年 4 月 1 日）
(8) 法律顧問契約　西脇法律事務所（2021 年 6 月 1 日）

(9) 共同研究契約　国立大学法人岡山大学（2022 年 1 月 28 日）
(10) 共同研究契約　国立大学法人東北大学（2022 年 2 月 4 日）
(11) 連携研究拠点の設置に関する覚書　国立大学法人東北大学高等研究院（2022 年 2 月 15 日）
(12) 共同研究契約　国立大学法人京都大学（2022 年 2 月 28 日）
(13) 共同研究契約　国立大学法人千葉大学（2022 年 3 月 29 日）
(14) ジョイントアポイントメントに関する協定書　早稲田大学（2022 年 3 月 31 日）

6.　主務官庁の指示に関する事項

該当事項無し

7.　その他重要事項

該当事項無し

別表　1

役員･評議員名簿

（2022 年 3 月 31 日現在）

（理事の任期:2021 年 6 月 16 日～2023 年 6 月開催予定の定時評議員会終結の時）

	氏　名	現　職　等
理事長 （代表理事）	豊田章一郎	トヨタ自動車株式会社 名誉会長
所長 （代表理事）	玉尾皓平	京都大学　名誉教授 国立研究開発法人　理化学研究所　栄誉研究員
常務理事 （業務執行理事）	菊池　昇	株式会社コンポン研究所 代表取締役所長
理　事	榊　裕之	学校法人トヨタ学園　フェロー 豊田工業大学　名誉学長
	豊田章男	トヨタ自動車株式会社 取締役社長
	豊田幹司郎	株式会社アイシン 取締役会長
	上杉志成	京都大学化学研究所　教授
	唯　美津木	名古屋大学　物質科学国際研究センター教授
	長谷川眞理子	総合研究大学院大学　学長

（監事の任期:2020 年 6 月 22 日～2024 年 6 月開催予定の定時評議員会終結の時）

	氏　名	現　職　等
監　事	加藤伸一	トヨタ自動車株式会社　元副社長
	山口千秋	東和不動産株式会社　元社長

（評議員の任期:2019 年 6 月 11 日～2023 年 6 月開催予定の定時評議員会終結の時）

	氏　名	現　職　等
評議員	安形哲夫	株式会社ジェイテクト 元社長
	池渕浩介	トヨタ自動車株式会社　元副会長
	市橋保彦	日野自動車株式会社　元会長
	内山田竹志	トヨタ自動車株式会社　取締役会長
	大橋正昭	愛知製鋼株式会社　元会長
	奥平総一郎	ダイハツ工業株式会社　取締役社長
	加藤宣明	株式会社デンソー　元会長
	加藤光久	トヨタ自動車株式会社　元副社長
	加留部　淳	豊田通商株式会社　取締役会長
	張富士夫	トヨタ自動車株式会社　元名誉会長
	豊田周平	トヨタ紡織株式会社 取締役会長
	豊田鐵郎	株式会社豊田自動織機 取締役会長
	濵口道成	国立研究開発法人　科学技術振興機構　理事長
	深谷紘一	株式会社デンソー　元会長
	増井敬二	トヨタ車体株式会社　取締役社長
	増田義彦	学校法人トヨタ学園　理事長
	宮﨑直樹	トヨタ紡織株式会社 取締役副会長

別表 2

研究職員名簿

（2022 年 3 月 31 日現在）

資　　格	氏　　名	就　任　年　月	備　　考
フェロー	齋藤　弥八	2018 年 4 月	常　　勤
	松本　吉泰	2018 年 4 月	常　　勤
	今田　正俊	2019 年 4 月	常　　勤
	大門　寛	2019 年 4 月	常　　勤
	西川　惠子	2019 年 4 月	常　　勤
	伊藤　敏幸	2020 年 4 月	常　　勤
	松下　裕秀	2020 年 4 月	常　　勤
	大谷　博司	2021 年 4 月	常　　勤
	田中　秀樹	2021 年 4 月	常　　勤
客員フェロー	喜多村　舜	2019 年 4 月	委　　任
	菅原　洋子	2019 年 4 月	委　　任
	尾崎　幸洋	2020 年 4 月	委　　任

別表　3

事務職員名簿

（2022 年 3 月 31 日現在）

所　　属	氏　名	就任年月	担当業務（役職）
事　務　局	藤川　武敏	2015 年 2 月	事務全般（事務局長）
	阿知波幹夫	2019 年 7 月	事務全般（主査）
	小池洋二郎	2021 年 7 月	事務全般（主査）
総務グループ	野口あゆみ	2008 年 4 月	一般事務（ﾘｰﾀﾞｰ）
	浜辺　宏子	2014 年 7 月	一般事務
	加藤　美香	2017 年 4 月	一般事務
研究支援グループ	松島　　悟	2017 年 1 月	ﾃｸﾆｶﾙｽﾀｯﾌ（ﾘｰﾀﾞｰ）
	鈴木　教友	2016 年 2 月	テクニカルスタッフ
	伊東　一彦	2018 年 4 月	テクニカルスタッフ
	太田　充彦	2020 年 10 月	テクニカルスタッフ
	郡司　　覚	2021 年 8 月	テクニカルスタッフ

付属明細書について

2021 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第３項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2022 年 5 月

公益財団法人　豊田理化学研究所